

令和 7 年 1 月守口市農業委員会総会

開催日時 令和 7 年 1 月 2 1 日 午後 2 時 0 0 分～

開催場所 守口市役所 1 階 市民会議室 1 0 5

出席委員 ①西口 誠一 ②田中 明美 ③大倉 利文 ④大西 庄治
⑤木村 剛久 ⑥砂口 勝紀 ⑦辻本 恵美子 ⑧辻本 卓郎
⑨中東 郷美 ⑩西川 成美 ⑪橋本 徹 ⑫三島 雅子
⑬山崎 勝彦

事務局 宇都宮、寺澤、大路、満永

閉会時間 午後 2 時 2 3 分

事務局

皆さん、こんにちは。定刻より少し早いですが、おそろいになりましたので、始めさせていただきたいと思います。

今回、令和 7 年 1 回目の農業委員会となります。

新年明けましておめでとうございます。

去年もインフルエンザ、コロナ等、はやっておると聞いております。皆さん方におかれましても、お体御自愛いただきまして、またこの 1 年、守口市農業委員会、よろしくお願いいたします。

西口会長

時間前でございますけども、皆さんおそろいでございますので、ただいまから令和 7 年の 1 月総会を開催いたします。着座させていただきます。

新しい年が明けました。ということで、皆さん御存じのように、今年は巳年でございます。蛇は神を守るということで、穀物の神様とも言われておりまして、蛇はよう脱皮を繰り返しますということで、復活と再生の象徴とされておりまして、巳は果実の実と通ずるということで、やっぱり今年もやっぱり実り豊かな実を結ぶ年でありますように願いたいと思います。ということで、この 1 月だけでもいろんな情報が出ておりますので、若干お話をさせていただきます。

1 つ目はですね、農業算出額、日本の農業算出額が 9. 5 兆円ということで、我々、前は農業生産額 8 兆円、8 兆円ってよう聞いたんですけども、農業算出額は 9. 5 兆円ということで、過去 2 0 年で最大やということで、その上がった理由がありまし

て、米の値段が上がった。それともう一つは、鶏卵の値段が今まで安かったんですけども、上がってきたということが主な理由であります。ということで、農業算出額が9.5兆円になったということです。

あとは、やっぱり気象関係の話がよく出まして、冬日、平均、年8日減ってきた。冬日、寒い日が8日減ってきた。静岡、富士市、世界最多の35日間減ったということで、これはアメリカの研究機関が解析した話でございます。ということで、冬日も減ってきた。去年夏の暑さも皆さん方よう体感されて御承知やと思いますけども、冬日のほうも減少してきたという状況があります。

あとはですね、また気温に関係する話で、昨年、世界気温の最高を更新したと。世界の気温が昨年度は最高を更新したということで、EUのほうで発表しておりまして、パリ協定の目標、初の超過してきたということで、いろいろ問題がということで、我々、野菜、米、いろいろ作っておりますけども、これからやっぱり作付体系っていいですか、それもやっぱり変更を考えていかざるを得ないような状態を迎えてるなと思ってます。

具体の昨年の話では、大根あたりで見ますと、前は8月の末あたりに大根をまいとったんですけども、その頃はやっぱりシンクイムシがこの世の春やということで、高温が続いて、乾燥が続いたらシンクイムシがめっちゃくちゃ多いということで、今年の夏の大根を栽培される場合はかなりかなりまく時期を遅くしていかんと具合が悪いん違うか。私も去年の大根の状況を見てますと、一番最初は9月2日に播種やったんです。ほんでそのときにまいたんで、7割方がシンクイムシにやられました。その後、5日遅れでやったんが、5割方シンクイムシにやられた。ちゃんと粒剤で防除やっとなんてです。ほんで粒剤も新しいシンクイムシに効く粒剤やって、それでもまだやられてしまうということで、5日置きにやられて、ちょうど二十日遅くやった大根が一番真っ当に生育してるような状況です。ということで、皆さん方も、今大根例えて話させていただきましても、かなりかなりまく時期を遅らせていかんと正常に栽培できひんなというような、そんな状況でございます。お米のほうも高温耐性米への転換が物すごく進んでるということでございます。ということで、日本の状況をちょっとお話しさせていただきますと、秋田あたりは高温耐性のほうでは「サキホコレ」というやつができます。それはやっぱり一等米が多いんです。今までのやつで、それ以外作ったら一等米のあれがかなり格下げになってるということで、秋田では「サキホコ

レ」、山形ではこれも皆さん方、新聞でようお聞きと思いますけども、「雪若丸」という形になってます。新潟では「新之助」というような形が出てますし、茨城では「にじのきらめき」、栃木では「とちぎの星」ということで、それと富山では「富富富」と書いてふふふと、ふが3つついた品種になってます。滋賀県でもやっぱりもう今までは「日本晴」やったんですが、「きらみずき」という品種に変わってます。佐賀では「ひなたまる」というのが変わってますし、熊本では「くまさんの輝き」というような形で、高温耐性への転換が加速してるという状況でございます。

それともう一つ、また米の話題でございますけども、米の相対価格が過去最高になってますよということで、24年産は平成の大冷害を上回るような状況を迎えてますということがあります。

あとは、5点目は、荒廃した農地が4年ぶりに増加してきましたということで、23年度で見たら、20都府県で1割を超える。1割を超える荒廃農地が増えてきましたという状況を迎えております。ということでございます。

あと、追加の資料で、大阪農業時報にも出てますけども、大阪府の認証制度で「なにわの伝統野菜」で、「海老芋」と「河内れんこん」が追加になりましたよってということで、先般も「守口大根」の長さコンクールがありましたけども、これも守口大根は「なにわ伝統野菜」で16番目に認定をされた守口大根でございます。今までは、このちょっと上に出てます「なにわの伝統野菜」の認証制度という、今まではこれで22品目あったんですけども、この「海老芋」と「河内れんこん」追加されて、24品目になったということでございます。よく似た言葉でちょっとごちゃごちゃにならんように、皆さん方御承知やと思いますけども、ちょっと欠けてますんで、「なにわ特産品」というのがここに出てますけども、「なにわ特産品」と「なにわの伝統野菜」とはちょっと違いますよということを御承知おきいただきたい。「なにわ特産品」は、一般市場によく出回ってる大阪の特産のよく出回ってる野菜のことを「なにわ特産品」やということで御理解いただいたらありがたいなと思ってます。ということで、認証制度で、「海老芋」と「河内れんこん」、今までは「門真れんこん」って言ってたんですけども、認証では「河内れんこん」っていうんですね。やっぱり「門真れんこん」は門真で取れたれんこんを「門真れんこん」、そやけども実際には守口でもれんこん作ってますし、ちょっと遠くなって枚方あたりでも作ってる。湿田では作っておりますので、統一して「河内れんこん」という形になっております。

あと一部ちょっと紹介をさせていただきますと、こんな本が出てまして、「大阪の農と食を支える女性たち」って、こんな本が出回ってます。またちょっとずっと回して。

あとはいろいろ本が出てきてまして、「図解の知識ゼロからの食料安全保障入門」というような、こんな本です。ということで、これを紹介したのは食料安全保障、もちろん農業者の問題もあるし、国民の問題もありますけども、ここに出てますのは消費者の役割っていいですか、消費者の役割も出てきたってということで、消費者はただ単に食べてるのあったらええやんけっていう認識ですけども、それでは具合が悪いですよ。消費者のほうも認識を改めてくださってという方向が出てます。ということで、こんな本も出てきましたということで、参考にこれは。

前段、ちょっと長くなりましたけども、これぐらいで終わらせていただいて。

それでは、事務局より、本日の欠席委員の報告をお願いいたします。

事務局

御報告申し上げます。本日、欠席届の出ている委員は山田委員でございます。したがって、本日の出席委員数は13名でございます。

以上です。

西口会長

はい、ありがとうございます。

定足数を満たしておりますので、本日の総会は成立いたします。

それでは、初めに農業委員会の憲章を唱和したいと思いますので、代理のあと続いて、よろしくお願いいたします。座ったままで。

《農業委員会憲章の唱和》

西口会長

はい、ありがとうございます。

本日の署名委員は、橋本委員と三島委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、議事の進行にまいります。発言に際しまして、まず、挙手をお願いします。その後、私のほうから指名させていただきます。

ますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、付議事件の報告第１７号の説明を事務局からよろしくお願いいたします。

事務局

それでは、報告第１７号「農地法第４条第１項第７号の規定による農地転用届出について」を御参照ください。届出農地の詳細は、記載のとおりでございます。

３件ございまして、３件とも無断転用の案件で、「守口市農業委員会申合せ事項 第３項」の規定に基づき、当該農地周辺に農地はなく、農地転用の影響等確認が不要としたものです。

１件目、寺方元町のものは、令和６年１２月２３日付で届出があり、令和７年１月６日に受理通知書の発行を行ったものです。

２件目、暁町及び日向町のものは、令和７年１月６日付で届出があり、１月９日に受理通知書の発行を行ったものです。

３件目、梶町のものは、令和６年１２月２７日付で届出があり、令和７年１月１４日に受理通知書の発行を行ったものです。

いずれも農地法関係事務に係る処理基準について、第６の３の（２）届出を受理しない場合には該当しません。

以上でございます。

西口会長

はい、終わりました。

委員の皆さんから、何か御意見があれば頂戴したいと思います。なければ、次の議題に進めさせていただいていいですか。

それでは、次の付議事件の報告第１８号の説明を事務局からお願いいたします。

事務局

それでは、報告第１８号「引き続き農業経営を行っている旨の証明書について」、御参照ください。申請農地の詳細は、記載のとおりでございます。

こちら３件ございまして、１件目は、令和６年１２月２５日付で申請があり、２５日に事務局が、１２月２７日に砂口委員が現地調査を行い、１月７日に証明書の発行を行ったものでございます。

２件目は、令和７年１月６日付で申請があり、１月９日に砂口委員が、１月１４日に事務局が現地調査を行い、１月１６日に証

明書の発行を行ったものでございます。

3件目は、同一の農地で御親族で按分して相続されているため、2名の名前を記載しております。お2人分とも、令和6年12月12日付で申請があり、12月22日に砂口委員が、12月24日に事務局が現地調査を行い、12月26日に証明書の発行を行ったものでございます。

以上でございます。

西口会長

はい、説明は終わりました。

1件目について、現地調査を行っていただきました砂口委員から、御意見がありましたら頂戴できるとありがたいです。

砂口委員

別段何もないです。

西口会長

何か御意見がありましたら。

砂口委員

現地確認をいたしました。現状のとおりであります。以上です。

西口会長

はい、ありがとうございました。

委員の皆さん方から、何か御意見がありましたら頂戴したいと思います。

いいですかね。3件ともいいですかね。

ないようでございます。

本日の議題は以上でございます。ありがとうございました。

最後に、何か事務局からありましたらお願いいたします。

事務局

はい。次回の総会日時についてです。

今回は、令和7年2月21日、金曜日の午後2時から、市役所1階の会議室105で開催を予定しております。

以上です。

西口会長

はい、ありがとうございます。

それでは、以上で、令和7年1月の農業委員会総会を終了いたします。

ありがとうございました。

守口市農業委員 署名委員